



防災つじどう

発行 辻堂地区防災協議会
2025年(令和7年)3月
第36号
事務局 辻堂市民センター
TEL:0466-34-8661

巻頭言

辻堂地区防災協議会会長 小川 雄二郎



新たな年を迎えて、今年こそ災害の無い良い年であることを祈ります。

辻堂のみならず藤沢市は関東大震災以来大きな災害に遭っていません。「ここでは大きな災害は起きないだろう」と考える人がいるかもしれませんが、被災された人々の「こんな災害が起きるとは思っていませんでした」という声をテレビで聴くことが多くあります。

大きな災害が起きては困りますが、起きないと信じるだけでは対策にはなりません。起きても大きな被害を生じさせないように、万一に備えた様々な防災対策を今年も進めてまいりましょう。

第31回辻堂地区 総合防災訓練 開催

幅広い方々が参加して防災力向上!

2024年11月24日(日) 浜見小学校で、関係機関のご協力のもと、総合防災訓練を開催しました。当日は晴天に恵まれ、総勢474名が参加しました。

訓練は18ブースを関係機関がそれぞれ分担して行い、最後に消防団の操法演技の披露で終了となりました。

今回は小・中学生や障がいのある方の受け入れ態勢を整え、幅広い方々が参加しました。小・中学生にはスタンプラリーを行いながら楽しく参加できるようにし、障がいのある方には安心スペース(教室)の確保やスタッフの同行で、安心して参加できるようにしました。

日頃から防災に高い関心を持ち、地域や関係機関との連携を取りながら、防災力の向上につなげていきましょう。

(記 松木 武美)



車イスでの濃煙体験訓練の様子

「個別避難計画」事業の開始(続報)



災害時の避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成がいよいよ辻堂地区全域で開始されました。2024年10月13日(日)に辻堂地区の自治会・町内会の担当者が集まり、第一回目の担当者会議が開催されました。ここでは、それまでの経緯と各自治会・町内会での取組方法等について報告があり、各自治会・町内会で取組が開始されました。2025年2月24日(月・祝)には第二回目の担当者会議が開催され、地区住民に対する支援者としての協力依頼のチラシに関する説明や、作成した個別避難計画の書類の保管方法、市からの委託費等について説明があり、質疑が行われました。令和6年度(2025年度)の取組は2025年3月10日(月)を締め切りとしてとりまとめが行われることとなりました。

(記 加藤 照之)

第47回辻堂公民館まつりへの出展

2024年11月9日(土)～11月10日(日)に辻堂公民館において公民館まつりが開催され、辻堂地区防災協議会も参加しました。

今回は次のとおり展示を行いました。

- ・昨年発生した能登半島地震に緊急援助隊として現地派遣された藤沢市消防局救助隊の活動記録写真の展示。
- ・災害時に、「共に助け合って避難する」個別避難計画の作成に伴う関連資料の展示・説明。
- ・例年行われている親子で楽しめる「防災クイズ」
- ・年間を通しての辻堂地区防災協議会の活動報告
今年は延べ770名が参加されました。

次回も皆さんの参加をお待ちしております。

(記 國弘 宏祐)



災害時福祉ボランティア募集中

現在、市では福祉避難所(一次)等の運営をお手伝いしていただく「災害時福祉ボランティア」として、保健福祉や語学に関する資格や経験をお持ちの方を募集しております。

「災害時福祉ボランティア」は、保健福祉や語学の分野で資格や経験を有する方で、災害時のボランティア活動にご協力いただける方が、事前に登録をしていただくことで、大規模災害発生時に福祉避難所(一次)等にお集まりいただき、受入をした要配慮者に対して、介助等のお手伝いや市の職員への助言を行うなど、福祉避難所(一次)等の運営の補助をお願いするものです。

詳細は、市HPまたは危機管理課にお問い合わせください。(記 事務局)

市HP

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikikanri/bosai/saigai-fukushi-volunteer.html>



未来を担う子どもたちへ防災教育 ～第7期チームレスキュー活動報告(続報)

チームレスキューは、辻堂青少年会館が主催する小学3年生から中学生までを対象とした防災教育です。今年度は12名が参加しており、辻堂地区防災協議会が全面協力しています。前半の活動では、災害とはどのようなものなのか、その時どう行動すれば我が身を守れるかを県の防災センターなどで体験し学びました。(詳細は前号をご覧ください)

後半の活動は、前半に学んだ防災の知識を活かし、2024年11月4日(月・祝)の第4回・第5回は辻堂駅前を防災の視点で観察しながら歩き、気がついたことを白地図に書き加え、安全に避難するための防災地図を作成しました。当日は辻堂駅前町内会の皆様にご協力いただき防災倉庫の備品の使い方を教えていただきました。そのあと、地震によるケガの一番の原因となる家具の転倒について、模型を使い防止策をみんなで考えました。2024年11月24日(日)の第6回は総合防災訓練の会場で家具の転倒防止策をたくさん参加者に説明しました。2024年12月22日(日)の第7回(最終回)は災害時に役立つほのぼののランプを作り、ランプで炊いたご飯でおにぎりを握りました。初めておにぎりを握った子どももいました。最後は小川会長が修了証を渡し、全てのプログラムが終了しました。「また参加したい」と言って帰って行った子どもたちの言葉に疲れが吹き飛びました。(記 吉田 秀樹)



第12回令和6年度辻堂地区防災講演会

テーマ:能登半島地震と災害対応

2025年3月2日(日)に辻堂市民センターにて二部形式による講演会を実施しました。

第一部 解説:能登半島地震 加藤照之氏(大正大学地域構想研究所 客員教授)

- ・能登半島地震(M7.6最大震度7)の被害の概要、特徴として、津波、地殻変動、地滑り、崖崩れ、液状化、聞きなれない側方流動等の現象が起きた。
- ・震源付近の市町村は全国的にも建物の耐震化率が低く、高齢者の割合も高かったため、災害に対する脆弱性が高かった。
- ・輪島市朝市での大規模火災の発生。
- ・半島という地形による道路損壊の影響が大きく、支援の遅れが発生。
- ・インフラの途絶も深刻で特に停電と断水によりトイレの水も流せなくなり、トイレパニックとなった。

第二部 パネルディスカッション～能登半島地震の教訓をどう活かすか～

現地に支援に行かれた藤沢市職員の皆さんによる活動報告

- ・消防局の方からは緊急消防援助隊として、遠い宿营地での救助活動や捜索活動についてビデオを見ながら臨場感ある報告がありました。
- ・危機管理課の方からは支援物資の仕分けや避難所への配送、また罹災証明書の発行のための被害建物の調査の報告がありました。被災者にとって罹災証明書が重要なものと認識しました。
- ・地域保健課の方からは珠洲市の3か所の避難所での支援活動報告を聞きました。避難所巡回、在宅避難者の健康支援、生活環境支援、必要な情報の提供の様子や、現場で感じた課題についても報告があり支援の苦労がうかがえました。

(記 國弘 宏祐)



↑アーカイブ配信
はこちら

令和6年度安否確認訓練

少しでも多くの命を助けるために、
ご協力ください。

安否確認訓練は、大地震発生時に自身の身の安全をタオルなどの目印を軒下に掲げることによって周囲に知らせ、目印の掲示のない、救助が必要な方々により早く救助の手を届けるための取り組みを訓練するものです。

2025年3月8日(土)に実施した本訓練では、参加した自治会町内会の世帯のうち、およそ半数が目印を掲示しているという状況でした。

少しでも救助が円滑に進められるように、ご自身の避難行動を優先しつつも、今回の訓練経験を活かして、引き続きご協力をお願いいたします。

(記 事務局)

